

### 担当者紹介

篠原巨司馬（シノハラコスマ）

- ・ 誕生東京・中高鹿児島・大学大学院京都・現在福岡 6 年目（故郷？）
- ・ 形式よりも実質派
- ・ 製造業・IT・ゲーム産業・アニメ産業における経営（誰か一緒に研究しませんか）に関心あります。定性的研究者であり参与観察・インタビュー調査マンです。
- ・ 好きな娯楽：映画，小説，漫画，ゲーム（物語が好きです），バスケ，サッカー
- ・ FB(<https://www.facebook.com/kosumas>)
- ・ Twitter([https://twitter.com/cossi\\_etuweborg](https://twitter.com/cossi_etuweborg))
- ・ Website(<http://etu-web.oops.jp>)
- ・ Mail([shinohara@fukuoka-u.ac.jp](mailto:shinohara@fukuoka-u.ac.jp))
- ・ 研究室(2811:2 号館 8F 奥)
- ・ オフィスアワー（月曜 18:00-19:40，木曜 10:40-12:10 事前に在室確認することを推奨）
- ・ アポイントは上記のどれかで反応ありそうなものでどうぞ。その場合は事前に用件を伝えてくれると助かります。

### 本講義の概要

- ・ 経営するためにどのように会計を利用していくかという問題を扱う。
- ・ 学力試験とスポーツの技能や実績データ（シュート成功率は何%，インターセプト何本等）と経営データ（会計情報）の関係
- ・ 管理会計情報をどのように測定するかという側面と，その情報をいかに利用し組織をコントロールするかという側面と両面からアプローチする
- ・ 会計と名前がついているが，会計だけでなくマーケティング論，戦略論，生産管理論，労務管理論など経営全体に対する総合的な理解が必要である。適宜補足はするが，それらに触れたことがない場合は，追加的に学習する必要がある。
- ・ 本講義は後期の「管理会計論II」とセットである。両方とも受講すること。

### 到達目標

1. 管理会計のフレームワークを理解する。
2. 取り扱った管理会計技法のメカニズムを把握する。
3. マネジメント・コントロールの大枠を理解する。

### 予習復習について

- ・ 教科書を読んでくることを前提に話を進める。
- ・ 各自でウェブサイトや新聞、ニュース等から現代企業の経営の問題について常にアンテナを張り情報を得ること。

### 成績評価基準および方法について

上記到達目標すべてに達しているかどうかを基準とする。

評価方法は以下の通りである（片方を放棄した場合は合格できない）

- ・ 期中のレポートまたはエッセイ<sup>1</sup>(6回を予定)60% ・ 期末テスト40%

### 講義の進め方

前期の講義は以下のような内容

1. ガイダンス
  2. 管理会計のフレームワーク（全体像）
  3. 管理会計のフレームワーク（マネジメント・コントロール1）
  4. 管理会計のフレームワーク（マネジメント・コントロール2）
  5. 戦略管理会計（目標利益と中期経営計画1）
  6. 戦略管理会計（目標利益と中期経営計画2）
  7. 戦略管理会計（戦略分析会計1）
  8. 戦略管理会計（戦略分析会計2）
  9. 戦略管理会計（中期個別会計1）
  10. 戦略管理会計（中期個別会計2）
  11. 資本予算（1）
  12. 資本予算（2）
  13. 短期利益計画（1）
  14. 短期利益計画（2）
  15. 振り返り
- ・ 大きくは（1）管理会計のフレームワーク，（2）目標利益と中期経営計画，（3）戦略分析会計，（4）中期個別計画，（5）資本予算，（6）短期利益計画の6つのテーマに分けられる。それぞれ指定の教科書の1章から6章に対応している。
  - ・ 講義前には必ず教科書の該当箇所を「毎回」目を通しておくこと。また前回のノートを見直してくること。

---

<sup>1</sup> 事前に配布したシラバスやウェブシラバスではエッセイとしていたが、課題の設定上レポートも追加した。

教科書について

教科書:

上總康行『ケースブック管理会計』新世社 ISBN978-4-88384-211-7

参考図書：

横田絵里・金子晋也『マネジメント・コントロール』有斐閣 ISBN 978-4641164222

若林計志『MBA流 チームが勝手に結果を出す仕組み』PHP研究所978-4569810959



レポート・エッセイについて

- ・ 大きな6つテーマごとに課題，要件，メ切を提示します。すべて取り組む事が前提です。お見逃しなく。毎回のテーマのスタート時に発表します。第一回は次回発表します。

レポート・エッセイを書く際の注意点

**レポートとは**

レポートは何かを調べることや感想を言うことが目的ではなく，設定した課題（問い）を考察し答えを導きだして結論を出すものです。重要なことは，課題に対して自身の調査や先人の知恵・調査を活かしながら答えを導いていくという形です。そして問いと答えがきちんと対応していることが重要です。

**エッセイとは**

逆にエッセイは，何らかのテーマに関して自分なりの意見を表明するものです。もちろんデータやロジックに基づいて説明する必要があります。主に英語圏では英文のエッセイ課題が多いです。自分の考えをロジカルに述べるトレーニングになりますので，こちらも取り組みたいと思います。

レポートの基本的な構造	エッセイの基本的な構造
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">課題（問いを立てる）</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">データ提示や考察</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">結論（答えを出す）</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">テーマの設定・結論の提示</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">データ提示や考察などの論証</div>

読者にうまく伝えるため、この構造を明確にしてください。

文章の構成を整えてください。

文、段落、節、章というようにまとまった文章では構造があります。

何も考えずに区切るのではなく、一つの文では一つの意味、一つの段落では一つのテーマと  
いうように構成します。

これらはレポートの書き方について書かれた図書やインターネットでも詳しく調べることが  
できると思います。

引用はルールに従って行い、文末に引用文献リストをきちんと作ること

- 本文中で引用する場合は以下の例に従ってください。

[例]

篠原(2013)によると「七隈四つ角のわたなべのチョモランマチャンポンは一度食べてみる価値  
はある」（篠原，2013, p.13）というが、本当に価値があるかは確かめる必要がある。

というように著者名，発表年，その文のページ数を明記してください。

その上で文末に参考文献リストをつけてください。

- インターネットの引用は？

引用は主張を裏付けるために重要な役割を果たします。そのため信用できるデータや言説で  
なくてはなりません。インターネットの記事はいつでも編集でき、誰が書いたかわからない  
場合があるので引用する際にはその信頼性を判断する必要があります。信用できると判断で  
きる上に、その信頼性を自分で証明できる場合以外はつかわないでください。

また引用する場合は、その個別のページのタイトル，および URL、閲覧日を書くようにして  
ください。

\* 引用について詳しくは論文の書き方の解説本や，論文を参考にして学んでください。

以上 最低限上記を満たせない場合はレポート・エッセイを提出したとは見なしませんので  
よろしくお願いします。